

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 29年 12月 15日			
留 学 先 大 学	ハンブルク大学 (国名: ドイツ)			
所属学部・学科等名	日本学科			
在 籍 身 分				
留 学 期 間	平成 28年 10月 1日 ~ 平成 29年 7月 31日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: 学生ビザ			
	ビザ申請先: ハンブルクウェルカムセンター			
	取得方法, 提出書類: 経費負担証明書, 顔写真			
	手続きに要した日数: 約2週間			
その他必要な事前手続き	経費負担証明書			
出国年月日	平成28年9月 12日			
経 路				
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (大学関係者・その他) <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	日本学科で日本語でオリエンテーションがあった			
帰国年月日	平成 29年 8月 2日			
経 路	往路: 広島—成田—フランクフルト 復路: デュッセルドルフ—ヘルシンキ—成田—出雲			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	約100万	円	
	内訳	渡航費	100,000	円
		保険料	200,000	円
		教科書代(学費)		円
		宿舍費	450,000	円
		食費	100,000	円
		その他 (旅行 費)	150,000	円
(費)		円		
(費)		円		
3. 授業について				
年 学期	月 日 ~	月 日		
年 学期	月 日 ~	月 日		

年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	
4. 生活等について	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> その他 (WG)
住居の広さ	約 m ² 同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (3人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()
住居費	1ヶ月当たり €335 約 45,000 円
住居を決定した方法	<input type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ()
留学先での住居全般に関するアドバイス	
(2) 医療について	
1日以上入院を要する 病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input type="checkbox"/> 日本 <input checked="" type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ()
掛け金は	年間 円 補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 ()
留学前後での予防接種 の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	
日常的な健康について 不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	保険に入っていれば, 無料で診察してもらえた。処方された薬も安く買えた。
留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	ハンブルクは寒い日が続くので防寒をしっかりすること。

(3) 危険を感じた地域, 状況		
中央駅付近は暗くなってから一人で歩かないようにした。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 31年 3月 (当初の卒業予定年月 平成 30年 3月)	
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input checked="" type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に)	
現在の状況および今後の予定・進路等		
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫		
6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		

☆学習に関するレポート

授業は主にハンブルク大学の Sprachzentrum のドイツ語の授業を履修した。文法、音声、語彙、ライティング、異文化理解の授業など B1～B2 のレベルの授業を受けた。授業中の活動としては、文法の問題を解いて答え合せをしたり、ペアで音読練習や会話練習をしたり、クラスメートとペアやグループで話し合ったり、クイズやゲームをしたりなどただ教科書ノートに向かうだけでなく、実際に練習する機会が多かった。

世界の様々な国から来た生徒たちと授業を受けるのはとても興味深かった。アジアからの生徒もたくさんいた。授業のなかで生徒からの発言を求める先生が多くいたが、発言するのはいつもヨーロッパの生徒たちだったので、アジアからきた生徒（主に日本、中国、韓国）は授業後に残れと言われた。先生はアジアでは自分から手をあげて発言する文化だということは知っているけれども、ここはドイツだから間違えてもいいから発言するようにと少しお叱りを受けたりもした。わかってはいてもやはり難しかったがそれからは挑戦するようにした。ドイツ語を母語としない留学生の話すドイツ語はアクセントが強く、聞き取ることが難しかった。

授業だけではドイツ語の練習は限られてしまうので、タンデムパートナーを何人か見つけ、週1回ぐらいのペースでドイツ語を話す機会を増やした。

Sprachzentrum の授業だけでなく、日本語学科の授業も履修した。一つはドイツ語で書かれた新聞記事を日本語に翻訳する授業で、4～5人のグループで授業前にそれぞれが日本語に訳して来た記事を読み比べ、より新聞記事らしい翻訳にするために話し合い、最後にクラス全体でひとつの翻訳記事を作った。ドイツ語の新聞記事を読むのも面白かったが、新聞記事らしい表現に訳すのも難しくグループのメンバーとああでもないこうでもないドイツ語と日本語について話し合うのはとても有意義だった。もう一つ受けた日本語学科の授業は、日本の映画にドイツ語の字幕をつける授業だった。また、日本語学科の授業にサポーターとしても参加した、ドイツ人生徒の書く漢字を見て回って指摘したり、会話の相手になったり質問に答えたりした。ドイツ人がどうやって日本語を学んでいるか、また私自身知らなかった日本語についての知識を知ることができて参加してよかったと思う。

キャンパス内には図書館がいくつもあり、本を借りたり勉強したりとよく利用した。カバンを持って入ることはどの図書館でも禁止されていたので、必要な勉強道具だけを出して、カバンはロッカーに預けなければいけなかったのは少しめんどうだった。私は寒がりなので上着を着て入ろうとしたが、監視員の人に止められ脱いでロッカーに預けてくるように言われた。

☆生活に関するレポート

私が住んでいた WG (Berliner Tor) は地下鉄の駅から近く、大学には地下鉄で通った。その WG はハンブルク中央駅の近くにあったため、移動には便利だったが、中央駅付近は一人で夜歩くのは避けた。近所に食料品も生活品も売っている大型スーパー、食料品のスーパーなど3つぐらいあり、いつも気分や買いたいもので行き分けていた。ドイツの食料品、生活品はとても安かった。ドイツのスーパーそれぞれに独自のブランドがあり、それらの商品は特に安く品質も低いわけではなかったのでよく利用した。ドイツはほとんどのお店が日曜日には営業していないので、土曜の夕方はいつも混んでいた。日本ではいつでもスーパーやコンビニが開いているので、日曜日に開いていないとなるとやはり私も土曜日に駆け込むことも多々あった。

私が住んでいた WG は学生専用だった。様々な国の人が様々な教育機関で学んでおり、一階には交流スペースもあった。私のフラットにはイスラエル人、トルコ人の男性2人ともう一人の日本人女性がいて、それぞれに個人の部屋があり、キッチンが4人で共有、バスルームは2つあったので男子用女子用と分けていた。家具や食器が用意してあったので買い足さないといけないものはほとんど無かった。フラットメイトは出身も歳もバラバラで勉強していることも違ったため色々なことが知ることができて楽しかった。

食事はいつも自炊をしていた。スーパーで500グラム€0.50 ぐらいで売っている Milch Reis が日本米に近かったのでよく買って食べていた。大型スーパーには味噌汁、お米、海苔、醤油なども売っていたり、ハンブルクにはアジアンマーケットがあったりしたのでそこで日本の食材を手に入れることができたので、日本食も自分で作ることができた。ドイツはジャガイモがとても安かったのでジャガイモもよく食べた。パンも安く様々な種類のものがあつたため色々試してみるのも楽しかった。学校には学食があり、手頃な価格で食べることができた。しかし私には量が多かったり口に合わないものが多かったりしたのであまり利用しなかった。

ドイツの北に位置するハンブルクは Hamburger Schietwetter という言葉があるほど特に冬は天気が悪い日が続き、晴れる日がほとんどなかった。毎日曇っていると気分まで沈んでしまうこともあり、太陽のありがたみを身に染みて感じた。天気がいい日にはアルスター湖の周りを歩いたり、街中を散策したりした。

私はドイツ語をもっと勉強したくて留学を決意した。留学しなくても語学はいくらでも学べるから留学なんてする必要ないという人もいるが、言語だけを学んでも見えてこない部分がやはりあって、実際にその言葉が話されている国に行ってみてそこに住んでみて、初めて見るもの感じ取るものがあると私は思うし、実際日本でドイツ語を学ぶ以上にたくさんのことを体験できたので留学して本当によかった。